

# 「2021年中小白書」 ～コメント～



2021年6月1日  
RIETI BBLウェビナー

一橋大学大学院 経営管理研究科  
東京大学エコノミックコンサルティング  
宮川大介

# 概観

- 基礎的統計の継続的なupdate
- 現況の描写（esp., 中小企業@コロナ禍）
- 企業経営に際して重要となる四つのポイント
  - 具体的なメッセージ（参考：昨年度の宮川コメント）
  - データとケース・ヒアリング・アンケートの有効活用
  - 検討課題のハイライト

# コメント（1）感想

- 分析的・実務的視点のバランスを意識した議論
  - 財務・経営戦略：自社の現況把握の重要性、多様な資金調達先の確保の重要性、柔軟な経営計画策定の重要性、外部資源活用の重要性
  - デジタル化：（現況の描写自体が貴重）、企画・分析への活用の乏しさ、変動費用化の遅れ、step-by-stepによる成功事例、補完的資産
  - 事業承継：事業継続の障害としての後継者問題、親族以外の選択肢
  - “M”SMEs：環境変化への対応、ICT、地域、SDGs
- データ ⇒ 提言という「チャレンジ」が成功

# コメント（２）期待

## □ 自然に想定される発展的な議論

- 財務・経営戦略：優れたケースの根本要因は何か、政策が介入する必要性が特に高い部分は何処か、成功 vs. 失敗ケースの対比
- デジタル化：「働き方」以外の視点（例：生産性、最賃）、制約？
- 事業承継：外部人材・M&Aの重要性×データ、税制の政策評価、生産性ダイナミクスへの含意（退出効果との関係@[Ito & Miyakawa '21](#)）
- “Micro” SMEs：計測自体が課題という印象

## □ 適切に進んでいるdata-drivenな議論の継続を期待

# コメント（3）提案

- 白書の成果をフルに活かすために・・・
  - One-shotで終わらない分析体制の確立（リレー体制）
  - ミクロデータの整備（GビズID、税務データ、通関データ等）
  - アカデミックな研究との交流（協働）
  - 分析・政策立案・評価のタイトな結びつき

+ 多様なデータ：  
口座、人流、物流

⇔ 政策運営上の関心事 = 実務上の関心事 = 研究上の関心事

<連絡先>

宮川 大介 (Daisuke Miyakawa) Ph. D.

一橋大学大学院経営管理研究科 准教授  
(一橋ビジネススクール: [HUB](#))

東京大学エコノミックコンサルティング(株) チーフエコノミスト  
(UTokyo Economic Consulting Inc.: [UTEcon](#))

E-mail: [dmiyakawa@hub.hit-u.ac.jp](mailto:dmiyakawa@hub.hit-u.ac.jp)

Web: <https://sites.google.com/site/daisukemiyakawaphd>